

<表紙：緑色>  
2019年度以降入学者用

見本（抜粋）

法政大学教職課程  
履修カルテ  
2019年度以降入学者用

学部	学科	学生証番号	入学年度
ふりがな			
氏名			

取得 予定 免許	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	

- 2020年度科目等履修生
- 2020年度学士入学者
- 2020年度2年時編入者も含まれます。

<表紙：オレンジ色>  
2018年度以前入学者用

見本（抜粋）

法政大学教職課程  
履修カルテ

学部	学科	学生証番号	入学年度
ふりがな			
氏名			

取得 予定 免許	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	
	中学・高 校	一種・専 修	

- 2019年度転部・転籍・転科者
- 2019年度編入学者も含まれます。
- 2020年度3年時編入者も含まれます。

※入学年度により受け取るべきカルテが違います。

記入方法、提出時期等に差異はありません。

# 履修カルテ提出・受領のモデル

以下はモデルです。提出先や年次等に変更の可能性があります。また、免許状取得までに行うべき事柄はこのほか多数あります。詳細は、教職課程履修要綱や掲示板等を確認してください。

カルテの記入は、  
計画的に！

## 教職課程履修費納入及び登録票提出

カルテを受領。  
記入を始める。

## 3年次はじめ

カルテを教職課程センターに提出。記載状況の確認を受ける。  
後日、カルテが返却される。

提出前に、記入漏れ  
がないか確認！

## 3年次「教育実習事前指導」

カルテを担当教員に提出。記載状況の確認を受け、  
コメント等を書いてもらう。後日、カルテが返却される。

提出前に、記入漏れ  
がないか確認！

## 4年次「教職実践演習」

カルテを担当教員に提出。記載状況の確認を受け、  
コメント等を書いてもらう。後日、カルテが返却される。

提出前に、記入漏れ  
がないか確認！

## 卒業後

カルテをなくさないよう、大切に保管する。

## <履修カルテの目的・記入と管理の方法および注意事項>

### (1) 目的

教職課程を履修している学生が、自分の学習状況をしっかりと把握し、計画性をもって学習を進め、教員免許状の取得を達成できるようにするためのものです。

### (2) 履修カルテの取得方法

2013年度入学生から、教職課程履修を選択し、教員免許状の取得を目指そうとするものは、教職課程費を納入して、教職課程履修生としての登録をする必要があります。登録後、履修カルテが配布されます。

### (3) 記入方法と手順

- 1) 履修カルテを配布された時点で、名前など、必要事項を記入します
- 2) 最初に取得予定免許ごとの課程表を8～12頁に貼り付けます。次にその課程表をもとに、履修が必要な科目について3～5頁の履修状況に記入します。
- 3) 成績発表後、3～5頁の履修状況に記入します。
- 4) 学年ごとに自己評価シートを記入します。
- 5) 介護等体験、教育実習、ボランティア等の活動が終わったらそれぞれ記入します。

### (4) 提出時期

- 1) 3年次開始時——教職課程センター
  - 2) 3年次教育実習事前指導受講時の最初に担当教員に提出（授業内に担当教員より返却）
  - 3) 4年次教職実践演習受講時の最初に担当教員に提出（授業内に担当教員より返却）
- 「履修カルテ」の指導教員は、3年次教育実習事前指導担当教員及び4年次教職実践演習担当教員となります。

### (5) 履修カルテの保存と管理

履修カルテは、必要な時期に教職課程センターや教員に提出するほかは、各自保管・管理して下さい。免許取得後も大学卒業後も、大切に管理・保管して下さい。免許取得や教職等の就職に当たり提示を求められる可能性があります。また、「履修カルテ」には個人情報記録されているので、管理に十分注意してください。

### (6) 「履修カルテ」相談窓口

「履修カルテ」の記入と管理についての手続きや相談の窓口は、市ヶ谷地区については教職課程センター、多摩地区については教職課程センター多摩相談室、小金井地区については教職課程センター小金井相談室です。不安や不明な点があれば、相談して下さい。

### (7) 「履修カルテ」の再発行

「履修カルテ」紛失の場合、速やかに窓口で再発行を受け、記録を再度作成し、記入を継続して下さい。

◇法政大学教職課程 履修カルテ（Ⅳ） 実習関連科目等の履修状況と学んだこと

各実習等終了後、以下の欄に必要事項を記入すること。

区分	実施場所・実施学年	期間	実施内容	学んだこと
教育実習	実習校名  立 学校 ( 年次実習)	年 月 日～ 月 日 ( 週間)		
介護等体験	施設名  ( 年次体験)	年 月 日～ 月 日 ( 日間)		
	学校名  ( 年次体験)	年 月 日～ 月 日 ( 日間)		
その他のボランティア体験、教育等体験		年 月 日～ 月 日		
		年 月 日～ 月 日		

その他の教職に活かせる特技等の記録	(例：野球の指導、ボーイスカウト所属等)
-------------------	----------------------

<記入にあたっての注意事項>

※上記項目は、実習・体験が終了次第、速やかに記入すること。記入にあたってはより具体的な内容を記入すること。

(記入例)

区分	実施場所・実施学年	期間	実施内容	学んだこと
教育実習	実習校名  都立 〇〇〇〇高等学校 ( 4年次実習)	20XX年 6月10日～ 6月25日 ( 3週間)	教材研究、指導案作成、HR指導、模擬授業、研究授業、部活動指導、体育祭運営等	生徒に歴史を教えることを通じて、歴史は暗記させるのではなく、生徒の興味を引き、驚きを与え、新しい発見を探させることが重要だと学んだ。また積極的に生徒とコミュニケーションをとることが、良い授業運営に繋がると感じた。

### ◇法政大学教職課程 履修カルテ（Ⅰ） 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

学期初めに履修予定の科目名と教員名、履修時期を記入し、履修終了時に「学んだこと」まで記入する。

法令上の区分	授業科目名	教員名	単位	履修時期	成績	学んだこと
記入例	教職入門	〇〇先生	2	2019年度 秋学期	A	教職の〇〇の部分について学んだ。私にはまだ△△な部分が足りていないと思うので、もっと□□しようと思う。
教育の基礎的理解に関する科目	教職入門					
	教育原理					
	教育心理学					
	Educational Psychology (GIS学部)					
	教育の制度・経営					
	特別な教育的ニーズの理解と支援					
	教育課程論					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育指導論 (中学免許のみ)					
	総合的な学習の時間の指導法					
	特別活動論					
	教育方法論					
	生徒・進路指導					
	教育相談					
教育実践に関する科目	教育実習 (事前指導)		—		—	
	教育実習					
	教育実習 (事後指導)		—		—	
	教職実践演習					

※ 科目名称の後ろに（〇〇学部）と書いてある科目は、その学部生のみ履修可。

◇取得予定免許教科の履修状況一覧

<貼り付け見本>

◇取得予定免許教科の科目履修状況一覧 免許教科①<学校種：中学 教科：社会 >  
 (取得予定の免許1教科について、課程表をコピーし、すでに単位を取得した科目・未履修科目がわかるようにチェックをする。)

課程表 一部法学部法律学科・中学校1種免許状 (社会)				2000年度以降入学者	
必修	科目(新カリ科目)	開設 単位	備考	免許取得条件	
必修	■教職入門	CD 2		35 35 単 単 位 位	法系上の区分 教職免許等 教育基礎 社会制度経歴 心身発達 適性検査編成 指導法 教科指導 道徳教育編成 生活指導 教育相談 総合演習 教育実習
	■教育原理	CD 2	2009年度より科目名称変更。旧名称は「教育原理Ⅰ」。		
	■教育の制度・経営	CD 2	2008年度より科目名称変更。旧名称は「教育原理Ⅱ(教育の制度・経営)」 「教育原理Ⅲ」。		
	■教育心理学	CD 2			
	■教育課程論	CD 2			
	■社会・公民科教育法	CD 4			
	■社会・公民科教育法	CD 4			
	■道徳教育指導論	CD 2	2011年度より科目名称変更。旧名称は「道徳教育の研究」。		
	■特別活動論	CD 2	2002年度より科目名称変更。旧名称は「生活指導Ⅱ」。		
	■教育方法論	CD 2	2004年度より科目名称変更。旧名称は「学習指導論」。		
	■生徒・進路指導論	CD 2	2008年度より科目名称変更。旧名称は「生活指導Ⅰ」「生活指導Ⅱ」。		
	必修	■教育相談	CD 2		
■教職総合演習		CD 2	2009年度以前入学者まで(免許法の改正による)下記★参照		
■教育実習事前指導		CD -			
■教育実習(中・高)		CD 5	2011年度より科目名称変更。旧名称は「教育実習」。		
選択必修	■教職実践演習(中・高)	CD 2	2010年度以降入学者のみ(免許法の改正による)	20 単 位	教科に 関する 科目
	■教職実践演習(中・高)	CD 2			
選択必修	■日本史Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2		2単位 以上	日本史及び外国史
	■日本史Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2			
選択必修	■外国史Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2		4単位 以上	地理学(地誌を含む。)
	■西洋史Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2	①外国史Ⅰ・Ⅱから1科目選択必修(2単位以上) ②西洋史Ⅰ・Ⅱから1科目選択必修(計4単位以上)		
選択必修	■人文地理学Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2		2または 4単位 以上	「法律学、政治学」
	■自然地理学Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2	①人文地理学Ⅰ・Ⅱから1科目選択必修 かつ ②自然地理学Ⅰ・Ⅱから1科目選択必修(計4単位以上)		
選択必修	■地理学Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■法学(日本国憲法1単位を含む)Ⅰ	基礎 2			
選択必修	■法学(日本国憲法1単位を含む)Ⅱ	基礎 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■憲法Ⅰ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「憲法Ⅰ」「憲法入門」。		
選択必修	■憲法Ⅱ	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■国際法入門	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「国際法Ⅰ」。		
選択必修	■国際法基礎理論	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■国際空間法	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「国際法Ⅱ」。		
選択必修	■国際安全保障法	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■政治理論	法 4			
選択必修	■民法総論	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■契約法Ⅰ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「民法Ⅰ」。		
選択必修	■刑法総論Ⅰ	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■刑法総論Ⅱ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「民法Ⅰ」。		
選択必修	■物権法	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■債権回収法Ⅱ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「民法Ⅱ」。		
選択必修	■民法総則・商行為法Ⅰ	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■民法総則・商行為法Ⅱ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「民法Ⅰ」。		
選択必修	■労働法総論・労働契約法	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■労働基準法	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「労働法Ⅰ」。		
選択必修	■教育法Ⅰ	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■教育法Ⅱ	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「労働法」。		
選択必修	■経済学Ⅰ	法 4		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■経済学Ⅱ	法 4			
選択必修	■社会政策	法 2		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■雇用・福祉政策	法 2	2009年度より新カリキュラムに変更。旧名称は「社会政策」。		
選択必修	■社会学	法 4		4単位 以上	「社会学、経済学」
	■哲学Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2			
選択必修	■哲学Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2		2単位 以上	「哲学、倫理学、宗教学」
	■倫理学Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2			
選択必修	■倫理学Ⅰ(教職)、Ⅱ(教職)	CD 各2		2単位 以上	「哲学、倫理学、宗教学」
	■学校経営と学校図書館	CD 2			
選択必修	■学習指導と学校図書館	CD 2		2単位 以上	教科又は教職に関する科目
	■図書教育論Ⅰ	CD 2	これらの科目は、学校図書館司書教諭の資格科目の一部です。受 講については有料(1科目2500円)となります。詳しくは別冊の 「資格関係科目履修要綱」を参照してください。		
選択必修	■読書と豊かな人間性	CD 2		2単位 以上	教科又は教職に関する科目
	■情報メディアの活用	CD 2	▲2013年度から「学校図書館メディアの構成(仮称)」に変更。		
選択必修	■法学(日本国憲法1単位を含む)Ⅰ	基礎 2		4単位 以上	その 他
	■法学(日本国憲法1単位を含む)Ⅱ	基礎 2			
選択必修	■スポーツ総合	基礎 1		2単位 以上	体育
	■スポーツ種目	基礎 1			
選択必修	■スポーツ総合演習	基礎 2		2単位 以上	体育
	■English1Ⅰ、Ⅱ	基礎 各1	2007年度以降入学者のみ		
選択必修	■English2Ⅰ、Ⅱ	基礎 各1	2007年度以降入学者のみ	2単位 以上	外国語2(英語)
	■English2 ElementaryⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2008年度以降入学者のみ		
選択必修	■English4 IntermediateⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語2-表現Ⅰ」。	2単位 以上	外国語2(英語)
	■Oral Communication ElementaryⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語2-表現Ⅱ」。		
選択必修	■Effective Writing IntermediateⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語4-表現Ⅰ」。	2単位 以上	外国語2(英語)
	■英語オーラル・コミュニケーションⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語4-表現Ⅱ」。		
選択必修	■英語ビジネス・コミュニケーションⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語4-表現Ⅲ」。	2単位 以上	外国語2(英語)
	■英文ライティングⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「英語4-表現Ⅳ」。		
選択必修	■英語アカデミック・ライティングⅠ、Ⅱ	基礎 各1	2009年度より科目名称変更。旧名称は「Effective WritingⅡ」。	2単位 以上	外国語2(英語)
	■情報処理演習Ⅰ、Ⅱ	基礎 各2			
選択必修	■情報科学実習Ⅰ、Ⅱ	営 4		2単位 以上	情報機器の操作
	■プログラミング言語Ⅰ、Ⅱ	営 4			
選択必修	■データ処理Ⅰ、Ⅱ	営 4		2単位 以上	情報機器の操作
	■ネットワーク論Ⅰ、Ⅱ	営 4	2003年度以降入学者のみ		
選択必修	■応用プログラミングⅠ、Ⅱ	営 4		2単位 以上	情報機器の操作
	■電子計算機概論及び実習Ⅰ	営 4			
選択必修	■電子計算機概論及び実習Ⅱ	営 4		2単位 以上	情報機器の操作
	■電子計算機概論及び実習Ⅲ	営 4	2002年度以前入学者のみ		

※法学部開放科目について注意  
 ・2009年度から、新カリキュラムに変更となりました。2009年度から履修する科目は、「科目(新カリ科目)」を履修してください。  
 ・既に旧カリキュラムの科目で履修した科目は、対応する新カリキュラムの科目を履修することはできません。  
 ・★教職総合演習は2012年度まで開設し、2013年度は廃止の予定です。2012年度までに教職総合演習を未修得の2009年度以前入学生は、  
 2013年度以降、教職実践演習が必修となります。

# 法政大学における教員養成の理念

本学における教員養成の理念は、本学の基本理念である「自由と進歩」の理念に立った「社会の進歩を担う自由な個」の形成を基本とする。教育の仕事は、子ども・若者の育成を通して未来の創造に参加する営みである。また、教育の仕事は、社会が蓄積してきた諸価値を、自ら吟味しつつ若い世代に伝え、彼らの主体的で批判的な価値継承の力を育てていくことにある。教師はそういう仕事を通して社会の未来に対する責任を背負っている。また教育の仕事の素晴らしさは、大きな可能性を持ちつつも傷つきやすい子どもや若者と共に生きることによって、彼らを支え、彼らの生きる意味と希望を豊かに紡ぎ出していくことの中にある。そのような大きな責務を担うための教員としての力量や専門性は、教員としての職に在職するなかで生涯研鑽して獲得すべきものであるとともに、取り分けて大学4年間の意識的、計画的な教職課程の履修と、教職を目指す大学生としての日々の多様な努力によって獲得すべきものである。

本学の教職課程において、このような理念に立ち、教職のための専門知識や指導技能の計画的な習得と、「自由と進歩」の精神に基づく高い職業意識の獲得のために、この履修カルテを活用して、意識的な努力・研鑽に挑戦することを期待する。

---

## 履修カルテ目次

---

◇履修カルテの目的・記入と管理の方法とおよび注意事項	1
◇カルテ（Ⅰ）教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況	2～3
◇カルテ（Ⅱ）教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況	4～5
◇カルテ（Ⅲ）大学が独自に設定する科目の履修状況	5
◇カルテ（Ⅳ）実習関連科目等の履修状況と学んだこと	6
◇カルテ（Ⅴ）自己評価シート	7
◇免許教科の科目履修状況一覧	8～12
◇指導教員のコメント	13
◇自由記述欄	14～15
◇教育職員免許状取得までの履修・手続きモデル	16

◇指導教員のコメント

3年次開始時の、教員による記載状況確認欄

教員氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

「教育実習事前指導」担当教員のコメント

教員氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

「教職実践演習」担当教員のコメント

教員氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日